

アロマセラピーで安らぎを…(デイホーム)

認知症や不眠の予防・改善、心身のリラックス効果があるとされる『アロマセラピー』が注目されています。デイホームあじさいでは、平成18年より毎週1回、専門のセラピストさんにお越しいただき、ご利用者様のリラクゼーションを目的としたアロマトリートメントを実施しています。アロマオイル(精油)の香りを嗅ぐ事で脳に刺激が与えられ、集中力の向上・記憶力の改善・精神の沈静などの効果が期待できます。

ご利用者の方々もアロマオイルの香りとセラピストさんの手によるトリートメントを楽しみにしてくださり、「今日はアロマの日だったかな?」と心待ちにされています。そこでデイホームでは、「他の曜日でも、職員に何かできることはないか?」と検討し、昨年5月からフロアで芳香浴※を始めました。さらに今年の1月からは、職員による『ハンドセラピー』を開始しました。ハンドセラピーとはいわゆる『マッサージ』ではなく、優しく撫でる手と手のタッチケアで、ご利用者様の不安やストレスの緩和、円滑なコミュニケーションをとることを目的としています。「ご利用者様がリラックスでき、心地よく過ごしていただける空間作り」を、これからも行なっていきたいと思います。

※芳香浴とは…アロマオイルを使ってお部屋に優しい香りを充満させ、お湯を浴びるように全身で香りを楽しみます。



セラピストによるトリートメント
(フットマッサージ)



職員によるハンドセラピー
ご利用者様も笑顔で、会話が弾みます

『ヘルスケアセンターあじさい』実施報告

あじさいのおか牛窓では「ヘルスケアセンターあじさい」と銘打ち、平成26年9月から平成27年3月にかけて牛窓町長浜地区の皆様を対象とした会合を開催いたしました。この会は、介護保険サービスの利用者以外の方にも当施設に足を運んでいただき、リハビリテーション機器やマッサージ機器等をご活用いただいたり、カフェでお茶を飲みながら和気あいあいと会話を楽しんでいただくことで、ご参加者様同士の交流の活性化や介護予防の促進を図ることを目的として実施したものです。

会の当日は「トレーニングブース」「リラクゼーションブース」「レクリエーションブース」「カフェブース」を設け、参加者の皆様はトレーニングに励まれたり、マッサージ機器を使用してゆったりと過ごされるなど、それぞれ思い思いに活用され、「身体を動かして心身ともにもすっきりしました」「みんなと楽しく過ごせてよかった」「次もまた参加したい」等のお声を多数いただきました。皆様からいただきましたご意見は、今後のサービス提供に活かして参ります。

最後になりましたが、ヘルスケアセンターあじさいを開催するにあたりご協力を賜りました牛窓町長浜地区の民生委員・福祉委員の皆様、そして会にご参加くださいました皆様に、心より厚く御礼申し上げます。



◆◆寄付・寄贈御礼(4月)◆◆

久保 行幸 様

山本 信子 様

ありがとうございました。

あじさい

6月号(201号)

発行日: 2015.5.10

発行



社会福祉法人
誠和

特別養護老人ホーム
あじさいのおか牛窓
サービス向上委員会
発行責任者: 三石哲也

〒701-4301
岡山県瀬戸内市
牛窓町長浜1745-1
TEL 0869-34-6366
FAX 0869-34-6370

seiwa@ajisai-s.or.jp
<http://www.ajisai-s.or.jp/>

事業所紹介(グレースケア/グレースコートあじさい)

初めてあじさいだよりに登場します、「グレースケアあじさい」です。デイサービス(通い)・ホームヘルパー(訪問)・ショートステイ(泊り)・居宅介護支援(ケアプラン作成)の4種類のサービスをひとつの所でまかなえる『小規模多機能型居宅介護』といわれる事業所で、昨年12月に新規開設した建物の1階フロアにてサービスを提供しています。

日中は体操をしたり、懐かしい歌を歌ったり、散歩に出たり…他には頭の体操や習字など、のんびり楽しい時間を過ごしていただけるよう考えています。自前で調理をしている食事も、ご利用者の皆様には「美味しい」と喜んでいただいています。まだまだこれからの事業所ですが、職員一同、笑顔で頑張っています。どうぞいつでも、お気軽に遊びにいらしてください。

また、2階部分にはサービス付き高齢者向け住宅「グレースコートあじさい」を開設しており、「自宅での生活は不安に思う…」とお考えの高齢者の方が職員のサポートを受けながら、安心してご生活されています。こちらの見学も、いつでも歓迎いたします。



介護のポイント ~食事介助について~

今回は、自宅で食事介助を行う場合の注意点についてご紹介します。

(1) 目が覚めているか意識状態を確認する

ボーッとしていたり、意識がはっきりしていない状態だと、誤嚥につながります。前もって声掛け、目を覚ましたことを確認してから介助をしましょう。

(2) 正しい姿勢で食べてもらう

姿勢が悪いと、むせたり、喉に詰めたりする原因になります。

- ・基本は「顎を引き気味にして前かがみ」の姿勢です。
- ・座って食べる場合、床に足がつくようにしましょう。
- ・ベットで寝たまま食べる場合は、仰向けから30度横になった状態(側臥位)にしましょう。
- ・相手と介助者の視線は同じ高さになるようにし、なるべく座って介助しましょう。

(3) 口腔内を正常・清潔に保つ

入れ歯が合わない・歯が無いなどの状態だと、上手く咀嚼・嚥下が出来ない場合があります。

また、口腔内が清潔でないと、雑菌が繁殖し誤嚥性肺炎の原因にもなります。

口腔内の環境は、可能な限り良くしておきましょう。

食事に限らず、ご自宅での介護に困ったら…あじさいのおか牛窓へ、いつでもご相談ください!



☆☆☆求人情報☆☆☆

- 厨房調理員 募集中!!
- 未経験の方も歓迎!
(地元牛窓の方が多数勤務されています)
- 施設でのシーツ交換等のボランティアをしていただける方も、随時募集しております。
- 詳細はあじさいのおか牛窓(34-6366)まで!

前・四月十一日に、備
大・日生大橋マラソ
メン大会に、あじさい
し・バー七名で参加
り・走った。天候は曇
う・ど良い天気♪
タ・日生病院前からス
大・橋を渡り、二つの
折・り返す十kmを走り
ま・急勾配も多く、日
頃・走った。配り、日
身・体が思うようにた
動・かない状態でした
が、沿道の声援を受
け、ゴール!無事に
出・走賞ももらっ
完・来盛ひるやす
(米盛ひるやす)

スタッフあじさい